

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2020-2021

名古屋名南ロータリークラブ

- 承認/1991年3月8日 ● 例会日/火曜日・PM6:30 ● 例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
- 会長/加藤 英敏 ● 幹事/江松 央統 ● 会報・雑誌・広報委員長/高橋 武士
- 事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinam-rotary.com

ロータリーは
機会の扉を開く

2020-21年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナー

第1363回

2020年11月17日(火) 晴 第17回

～ ロータリー財団月間(世界インターアクト週間)～

斉 唱 それでこそロータリー
出 席 会員 57 名 (出席率算入人数 43 名)
出席 36 名 出席率 83.72%
ゲスト NPO 法人あいちクローバー
代表 福元 博樹氏

入会式

■ 紹介 推薦者 江松 央統さん

先日、体験例会に来てもらった小菅さんが無事入会いただけました。38歳で最年少ですので仲良くしてあげてください。宜しくお願いします。

小菅 久幹 (こすげ ひさみき)さん

生年月日: 1982年9月29日
職業分類: 自動車タイヤ販売
事業所: 共栄タイヤサービス(株)
趣味: ゴルフ
推薦者: 江松 央統さん

■ 新会員 小菅 久幹さん

皆さま、こんばんは。皆さまに早く覚えていただいて、先程の歌にあったようにどこで会っても「やあ!」と言ってもらえるようになったら良いなと思っています。これから宜しくお願い致します。

■ 歓迎の言葉 三島多恵子さん

小菅さん、おめでとうございます。また一人若い息子が増えたようで大変嬉しいです。うちのクラブは「明るく、楽しく」ですので、そのように頑張ってください。



副会長あいさつ

副会長 三島多恵子さん

皆さま、こんばんは。昨今、物忘れが少し酷くなりまして、我が家に居る甥っ子や姪っ子が「ボケたんじゃないか」「認知症じゃないか」と可愛くない事を言います。私も対抗しまして、「あなた達みたいに、海馬の短期記憶がポロポロ抜け落ちて、長期記憶も無い人にそんな事は言われたくない。私は歳を重ねる毎に、長期記憶を溜めているから、脳が一杯になってしまっ、記憶が出てこないのだ」と言いますと、「それでもボケている」と応酬してくるので、だんだん腹が立ってきまして、色々と言っています。いずれにしても、若い人と生活しておりますと、逆に脳の活性化に繋がって、上手い事やっていると思っております。

脳の記憶に関しては、知識や五感の経験から、海馬の短期記憶や脳へ行く長期記憶を選別しているようですが、歳を重ねると記憶というのは、脳に詰まっております、そのために思い出しにくくなると私は勝手に考えております。1分間80m位の遅さで回路を通過してくるから、次の日くらいにしか思い出せないかも知れませんが、記憶というのは、多分老化せずいつまでも残るのだらうと思っております、その為には、良い記憶だけを残して、悪い記憶は脳のお蔵入りにしたら、結構楽しく生きて行けるのではないかと思います。

ドイツの哲学者でアルベルト・シュバイツァーという方が、「幸せとは、記憶力が悪いという事だ」という言葉を残しております。ですから、私は今幸せに向かって着々と歩んでいると自負しております。後はすごく大きな幸せを掴むのだなと。万一、認知症になったとしても、ボケ勝ちという事で、後は人任せにしておこうと思っております。

さて、ロータリーは、親睦と奉仕の二本柱です。それを支えていくのは、会員の皆さまです。会員の皆さまの、知力、体力と会費の力でございます。今は季節的に財団や米山の寄付を集めておりますので、今後ともご協力のほど、宜しくお願い致します。

幹事報告

幹事 江松 央統さん

1. 来年2月4日(木)に開催予定の4RC合同例会です

が、コロナ禍で中止という事になりました。今回は瑞穂RCさんがホストクラブでしたが、来年に持ち越しとなりますので、1年ずつホストがずれる事になります。

2. ロータリー希望の風奨学金への寄付依頼があります。これは東日本大震災で親を亡くされた子供達に、学校へ行ってもらう為の奨学金として集めております。今年度も2回に渡って募金箱を回させていただきますので、沢山ご協力いただければと思います。宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ NPO法人あいちクローバー 福元博樹さま、卓話楽しみにしております。

神谷 大徳さん 谷川 弘高さん 上田 正秀さん
久納 征人さん 長尾 浅吉さん 犬飼りさ枝さん
高橋 武士さん 高橋 司さん 佐久間とう子さん
白藤 憲雄さん 川瀬 悟さん 児島 徳和さん
本多 利郎さん 三島多恵子さん 村瀬 聖子さん
江松 央統さん 坂田 信子さん 佐藤 薫さん
新原 尚さん 中西 芳子さん 伊藤 圭一さん
川辺 清次さん 平沼 純子さん 小嶋 招啓さん
福井 佳亮さん 東山 直史さん 中村 勝さん
三浦 和人さん 細井 俊男さん 浅井 正勝さん
吉木 邦男さん

- ◆ 本日より、入会させていただきます。宜しくお願いします。 小菅 久幹さん
◆ 東海東京証券はおかげさまで合併20周年を迎えることが出来ました。 野田 勇さん
本日合計 42,000 円 累計 643,000 円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

外部卓話

■卓話者紹介 江松 央統さん
今日、卓話をいただく福元さんは、医療法人で事務長をしていらっしゃいます。また、別の団体でNPO法人の代表もしてみえます。出会いは、居酒屋で、たまたま隣で飲んでいたという所からです。支払いを、ベトナムのドンで払おうとゴリ押ししていたのが面白くて友達になりました。そこからすごく仲良くしていただいて、勤めてみえる医療法人さんがベトナムでもクリニックをやっているから、一緒に視察に行かせていただき、色々教えていただきながら、今に至ります。このような活動をしている人なので、何か協賛や応援がいただければ、それはとても嬉しい事なので、聞いていただければと思います。

■ NPO 法人あいちクローバー

代表 福元 博樹氏

私は、AEDの普及活動をしております。スライドを通じて、活動の案内と、今後考えている事をお話したいと思います。

私は医療法人に勤めておりまして、10年位仕事に携わりながら、知り合ったドクターと主に市民目線でのAEDの普及をしていきたいという思いでこの活動を2008年に始めました。AEDを普通の人が使えるようになったのが2004年です。2003年によく救急救命士の方が使えるようになって、それまでは医者しか使えませんでした。どうしても病院に運ばれてきた時には既に手遅れの事も多く、医療関係者の方が市民にも普及させたいという思いでお声掛けをいただき、この活動を開始致しました。

活動開始当初、AEDは、名前は知っていても実際に街には無くて、あっても使い方が分からない飾りのような感じで、1台50万するとても高価なものでした。PHILIPSという海外製のもので消防署に置いてありましたが、価格が高くなかなか普及できていませんでした。そこから段々と日本の国産メーカーが製造、販売するようになり、今現在では20万円位になり、またリースで置けるようになり、普及しております。ただ、実際そういった場面で使えるかと言えば、意外と皆さま使えません。

そこでどういう風に、誰もが使えるように持っていくかという所で、私共が市民目線でこれを伝える活動をしております。使い方や心肺蘇生のやり方を、子供や若い方も対象にしながら簡単に教えるという方法を取ったり、これに伴う音楽を作ったり、ミュージカルを作ったり、本を作ったりという活動をして参りました。活動のモットーは、「AEDをもっと身近に、もっと楽しく」で、大人から子供までAEDを身近に感じるようにするのが目的であります。AEDの普及に合わせて、私たちが住み慣れた街で安心して暮らせる街作りをしていく事と、こういった活動に参加していただいた人たちが、それぞれの地域で活動を広めていただけたらという事を目標に続けております。先々週に、宮崎県の延岡の小学校で、小学生が急に倒れて、居合わせた先生と生徒さん達が、15分間で蘇生をして助けたというニュースが朝日新聞に載っておりました。このように高齢者の心臓が悪い人が倒れるだけではなく、子供でも急に心肺停止になる事もあり、とても身近だという事も皆さまに感じて欲しいと思います。

人が心肺停止で倒れた時に、1分間で10%ずつ生存率が減ってしまい、10分経つとほぼ助からない事になります。救急車をすぐ呼んでも、全国平均で8分位かかります。そこで、近くにAEDがあって、それを使用する事ができると、救命できる可能性が高くなります。こういう事は皆さま分かっているとは思いますが、実際、今このホテルでもAEDがどこに置いてあるか、知っている人はあまり居ないと思います。実は1日に200人近くの方が心臓の疾患で倒れております。とても身近な事なのです。AEDが住んでいる地域のどこに置いてあるか知っているだけでも、とても大切な事だと思いますし、使い方も知っているともっと良いと思います。では、どこで人は



倒れるかと言うと、よくニュースで耳にする道端というのは僅か7%です。70%近くは自宅で倒れております。自宅で倒れてもAEDの処置をされず、救急車で運ばれても麻痺が残ったり、手遅れになったりという事が実際は起こっておりますが、あまり知られておりません。今日、皆さま帰られたら家の近くでAEDのある場所を確認していただいて、家族に何かあった時は取りに行けるよう、事前に備えていただくと良いと思います。

ここで日本光電のCMを見ていただきますと、子供達が街の色々な場所でAEDを見つけています。私共も同じような事を考えておりまして、実は子供も救命のリレーに立派に参加できます。救命リレーとは、人が倒れた時に、救急車を呼ぶ、AEDを探す、人を集めるというものです。家で子供と2人の時に倒れた場合、子供がAEDの存在を知っていたら、これを取りに行ったり、救急車を呼んだりという大事な救命のリレーに十分に参加できます。私たちはAEDの使い方講習会で、子供にも触ってもらい、形を覚えてもらい、AEDを知るきっかけ作りも大切だと思って取り組んでおります。

数年前に、15、16歳位の演劇をやっている学生達との出会いがありました。人が倒れた時にAEDを使う所を、ミュージカル仕立てで音楽にのせて演じてもらい、5分間位の映像を作ってもらいました。完成度がとても良かったので、800名位の救急学会で発表させてもらいました所、スタンディングオベーションで専門家の先生方から絶賛いただいた事がありました。この学生達も、演じる為にAEDの事を調べたりした訳ですが、終わった後にはとても満足してくれて、新たな発見があったと言ってくれました。このような活動もやってきました。その他にも、大須商店街でAEDの講習会をして普及に努めたり、若者が集まる音楽イベントの前にAEDの講習会をしたり、高齢者が集まる名古屋別院で早朝にAEDの勉強会をしたり、マラソン大会に参加してAEDの普及活動をしなが、救急をお手伝いしたり、メディアを使って大きくご紹介いただいたりしております。このような活動は私共の資金でやっている形になりますが、今後は行政と取り組んだり、事業化したりして、日本ではある程度物は普及しているので、今後は使い方だけでなく、色々な浸透の仕方を別途考えていきたいと思っております。

これからこういった活動をしていきたいかと言うと、私共は日本では愛知県を中心に12年位活動し、一通りはできてきたと思っております。とは言いつつ、年に数回、自分たちでAED普及の為にチャリティーマラソンを500人位集めて庄内緑地でやっています。このような活動をずっとやっておりますと、駅で倒れた人を私共のメンバーが助けた事もありました。彼は触ったりしていたので、とっさに取りに走れたと言っていましたので、やはりAEDに日頃から関心を持っておく事が良いのではないかと思っております。

また、NPOの活動以外に、個人的な活動としましては、私は愛知県で在宅診療の医療法人の事務長をしております。海外の診療等もやっており、よく海外へ行くのですが、中国の北京や上海等、いまや大都会なのですが、実はAEDは普及しておりません。発展途上国でも首都は東京並みの大都市なのですが、AEDはありません。国民性なのかも知れません

が、中国などは医療機関に欧米の最新機械が入っているのですが、医者が使えない事があります。こう言った国々に日本で培ってきたAED普及のノウハウを伝えていけたらと思っております。この写真は、アフリカのルワンダの銀行です。都市なのですが、やはりAEDはどこにもありません。この写真は、ベトナムのハノイの私共のクリニックで、ここにはAEDを置いておりますが、街にはほとんどありません。私達の活動ではありませんが、逆に言えば、このような所は医療メーカーにとっては大きなマーケットなのではないかと思っております。

今後は、こういった国々での地道な活動を通じて、人の交流や国と国との友好に役立てるような活動をしていきたいと思っております。その為にも、興味のある皆さまのお力やご助言をいただけたらと思っておりますので、今度とも何かありましたらお声掛けの方を宜しくお願い致します。

第 1365 回例会 (12月1日) のご案内
年次クラブ総会